

# 阪北ファーム

無農薬野菜の栽培と実践を通じた  
新たな農業モデルを構築する

## 昨年度の活動

昨年度は宝塚市安倉南の市民農園およそ15㎡を借り、グループ委員の間で無農薬栽培の基礎を実践を通じて学び、無農薬栽培に適している無施肥（無肥料）という考え方を同時に学びました。コロナ禍で福祉団体などへの無農薬野菜の提供というのは十分にできませんでした。グループ委員が無農薬無施肥（無肥料）でも野菜が作れるということが理解できました。

川西市・黒川農園

## 今年度の活動

阪北ファームグループ代表による2回の座学により無農薬無施肥（無肥料）での野菜作りの基礎知識や土作りに関して畑での実践だけではなく理論を学びました。1回目の座学では土と草の基礎知識、2回目の座学では、より深い知識を身に付け、実践で使えるように天地返し※についても学び、翌月の実践活動で天地返しを実行しました。

※天地返し…畑の表層と下層の土を入れ替える作業

## 実践活動 安倉南農園（宝塚市 市民農園）

初年度はコロナが流行り出した年で状況も分からないため、夏野菜の栽培がギリギリの状態からのスタートでしたが、草を抜かず刈るという無農薬無施肥（無肥料）の方法にグループ委員も「本当にそれで野菜ができるのか？」と言っていました。収穫の際は目から鱗が落ちるような思いでした。



## 実践活動 黒川農園（川西市）

本年度は安倉南農園とともに川西市黒川に約500㎡の農地を借りて、より実践的な無農薬無施肥（無肥料）栽培を学んでいきました。安倉南農園では「天地返しした畝」と「天地返ししてない畝」で育ちがどう違うかの実験を行い、黒川農園では最初にジャガイモを栽培し、ジャガイモの芽欠きをした芽からジャガイモが育つことに「芽は、いままでは捨てていた」と衝撃を受け、貴重な体験となりました。



ジャガイモの植え付け

## 実践活動 イモ掘り体験

日時：令和3年11月21日（日）

場所：黒川農園（川西市）

黒川農園では計2回、一般の方を招いてジャガイモ掘りとサツマイモ掘りを行いました。特にサツマイモ掘りでは福祉施設の方を招き、サツマイモのツルを刈って、芋を掘るところまで体験していただき、掘ったサツマイモを持ち帰っていただきました。福祉団体への提供も行いました。



サツマイモ掘り体験



ジャガイモ掘り体験

## 実践活動 講演会「ひょうごの在来作物の保存活動」

日時：令和4年2月4日（金）

場所：川西市みつなかホール 第1セミナー室

阪北ファームグループの活動の総決算として、「ひょうごの在来種保存会」から講師を招いて「ひょうごの在来作物の保存活動」について講演会を行いました。無農薬野菜という訳ではありませんが自家採種を行い、種を繋ぐということも無農薬無施肥（無肥料）栽培には重要なことであり、ボランティアで活動している在来種保存会の活動を知らせてもらおうと一般参加者も募集し開催しました。



講演会

## 2年間を振り返って

新型コロナウイルス感染症が流行り、活動が一部制限されるなどで委員としての活動も数か月遅れるという事態となりましたが、阪北ファームグループは主に外での活動であったために定期的に集まり活動できていたと思います。グループ委員の中でも多少活動への温度差があり、熱心に学ぶという方とそうでない方が明確に分かれたことが残念でした。全体的にはグループ委員が無農薬無施肥（無肥料）栽培を学び、草を活かすという事を知り、農の楽しさを知ったということで目的は達成したと思っています。